

2019 年度歴史地震研究会 第 5 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2020 年 6 月 4 日(金) 17:00~20:20

出席者:松浦(会長),堀川(副会長),諸井(財政),盆野(行事),加納(広報),行谷(編集出版),中村(監査),植竹(監査),大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び 2019 年度会費の受取状況 (財政)

【資料 1】 1. 入退会者の承認及び 2019 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 4 名, 退会者 0 名, 休会申請者 0 名, 会員特典復活 0 名, 登録内容の変更 5 名
→入会者を承認
- ✓ 6 月 4 日現在の会員総数 281 名
- ✓ 2019 年度会費受取状況: 247 名 (88%) 未納者: 34 名
- ✓ 2019 年総会において会員特典停止の 2 名が 2018 年度会費を納入 ただし 2019 年度会費は未納

2. 2020 年伊賀大会の準備状況について (行事)

【資料 2】 第 37 回歴史地震研究会伊賀大会 準備状況③

【資料 3】 2020 年伊賀大会収支計画

【資料 4】 (別紙 2) 第 37 回歴史地震研究会 (伊賀大会) のお知らせ (第 3 報) (案)

【資料 5】 歴史地震研究会伊賀大会の開催について(感染症拡大による開催判断について)

- ✓ 後援申請は新型コロナの影響で遅れているが 6 月中には申請予定
- ✓ 公開講演会は前回提案より 30 分早く 12:30 開場とし開始を 13:30 とする
- ✓ 各講演のタイトルが確定 感染症の状況により辞退の可能性があるのでピンチヒッターとして伊賀市教育委員会文化財課長に依頼済
- ✓ 公開講演終了後に宇佐美会員からの特別講義(30 分程度)を開催
- ✓ 研究発表会 発表申込み: 50 件(口頭 28 件, どちらでも可 10 件, ポスター 12 件)
- ✓ そのうちポスター発表への申込みに高校生が 1 件
- ✓ プログラム案は別紙 2 の通りだが今年は感染症対策としてセッション終了ごとに休憩 15 分をはさみ換気等を行う予定
- ✓ 講演要旨集の印刷は地元印刷業者に依頼することを確認 8 月中旬頃までに原稿提出予定
- ✓ 現在の三重県における感染症対策の指針を確認
- ✓ 懇親会参加費は 6000 円で確定/キャンセルの場合は 8 月頭には連絡がほしいとの事
- ✓ 巡検コースのうち岩倉峡公園はバス降車場所から徒歩で移動することを決定
- ✓ 新規入会者の発表を承認
- ✓ 収支計画のうち感染症対策費を計上(マスク・消毒液・非接触型体温計・除菌クロス・フェイスシールド・衝立など)/講師謝礼を修正
- ✓ 感染症拡大による開催の判断について現状と対応(開催規模の縮小等)課題を資料 6 にて検討
→プログラムのうち筆頭が発表者でない場合星などを付ける必要があるので修正
→公開講演会を一般への公開ではなく会員のみ形にする方式でも良いのではないかと
→懇親会開催不可であれば巡検や公開講演会ほか研究発表会も開催してはいけないのではないかと
歴史地震研究会の社会的信用にも関わってくる問題である

- 他学会と違い規模が 100 名に達しないと思われ感染リスクが異なる
- 机 80 台を用意する予定で 1 人ずつ座れば距離は取れるほかその他対策をとれば開催は可能ではないか
- 完全にリスクが無くなるのを待っていたら数年は開催できなくなってしまう
- 他の同規模の集会なども参考にしてはどうか
- オンラインで開催される学会もあるが本研究会には適さないと思われる
- 懇親会と巡検を諦めても研究発表会はなるべく開催したい(学生の事もあり)
- 現在の状況が続くようであれば懇親会と巡検は中止の方向になるのではないかと
- 第 3 報には開催できない可能性を記載することを決定
- 巡検や懇親会も開催する方向で申込みを受付ける
- 講演要旨は通常通り 7 月末締め切りとし中止になった場合も要旨を公開する方向で決定
- 要旨の公開によって発表したとみなすか等の対応は中止された場合に判断する
- 特別講義への対応も今後の状況を見て判断
- 懇親会等が中止になった場合のホテルの対応(代金・送迎など)などは今後交渉
- ポスターセッションの形態(すべて口頭に振り替えなど)も直前までに検討
- 消毒作業等が煩雑になることが予想される(人員等)
- 受付係のリスクを低減させるために支払いなどを予め済ませておく(支払い)などの対応も検討
- 口頭発表時もマスク着用の方向/マイクを握る前に手指消毒/各自触った場所は自分で消毒など
- 高校生参加については行事委員から学校の方針等を先生に確認することとする
- 現段階で開催の可否を判断するのは難しいので 8 月頭の幹事会で判断することを決定

3. 『歴史地震』の編集について(編集出版)

【資料 6】3. 「歴史地震」の編集について

【資料 7】(別紙 1) 『歴史地震』35 号受理原稿(2020 年 6 月 4 日現在、講演要旨は除く)掲載順

【資料 8】(別紙 2) 『歴史地震』の原稿訂正方法について

- ✓ 35 号の編集状況(6 月 4 日現在): 論説 13, 資料 5, 報告 5, 訂正 3, 要旨 46, 315 ページ(予定)
- ✓ 「報告」のうち 1 編について編集委員会の判断で 6 ページとなることを認める方針
- ✓ 要旨数は実際の数 57 件から受理原稿 11 編を引いた数
- ✓ 受理済み論文は別紙 1, 訂正原稿については別紙 2 の通り
- ✓ これまで原稿内容の訂正方法については定められておらず研究会の Web ページに編集出版委員会の名義で訂正を掲載するなどの方法をとってきた
- ✓ 地震学会『地震』第 2 輯の訂正方法は 1 つの訂正を 1 つの論文として扱い掲載している
- ✓ 本研究会も著者からの申告により著者が訂正を行う方式としたい
 - 以前にも同様の方式で訂正を掲載した事があるので問題ない
- ✓ スケジュール: 5 月中旬著者校正/6 月中旬著者校正を反映し印刷原稿確定・要旨著者校正・目次作成校正/6 月 26 日入稿期限, 7 月頭初稿出しを最終チェック, 7 月 29 日会員と図書館へ出荷
- ✓ 発行部数は前幹事会で 410 部としたが, 35 号の著者から別途 10 部購入の申込みがすでにあった
 - 会費納入者数・未納者数などが前回から変化しているため 410 部は少ない 430 部かどうか
 - 著者に対して追加購入の希望をとる事を決定 430 部+追加購入希望部数 で決定
- ✓ 功績賞の英訳について「the Oth Distinguished Contribution Award of the Society of Historical Earthquake Studies」で決定

- ✓ 「報告」カテゴリーの却下について次号以降下記のようにしたい
 - ・「論説」「資料」でリジェクトになった原稿を「報告」で掲載するとは積極的に著者に伝えない
 - ・「論説」「資料」でリジェクトになった著者が「報告」掲載を希望したとしてもその号に掲載できるか確約が持てないことはあらかじめ伝えておく。
 - ・現状「報告」は4頁以下が基本でそれを越えるには編集出版委員会が認める必要があるがこの規定はそのまま残す。
 - ・「報告」にはリジェクトできる規定がない。そこで編集規定変更を実施したい。
- 規定について主語を明確に記載する方が良い
- 規定の変更案については編集委員会ですらに検討し次回以降の幹事会で審議することとする

4. 2021年苫小牧大会の開催について

【資料9】2021年苫小牧大会について

- ✓ 現在新型コロナの影響で2月以降苫小牧市側と対面で打ち合わせができない状況だが市は開催を検討してくれるとのこと
- ✓ 会場の下見についても自粛を迫られている状況で今後緩和されれば下見を行い会場のスペックや空き状況・料金を確認の予定
 - 近年の会場費の相場について確認
- ✓ 日程について北海道胆振東部の地震の発生日が9月6日でありこの日が目安となる
- ✓ A案(4~7日)とB案(18~21日)および市案(11~14日)を市側と調整中であり他の防災講演会等との兼ね合いも加味して検討する
 - 第1候補としてA案・第2として市案を進めることとする
- ✓ 時間割について市側の要望として公開講演会を行うのであれば休日の午前中が良いとのことと下記を組み合わせて検討中
 - 1日目：午後から研究会開始 2日目：午前・市民講演会 午後：研究会、懇親会
 - 3日目：一日中研究会どこかで総会 4日目：巡検
 - これをベースとして進めることを確認
- ✓ 公開講演会の後援等について希望する団体はあるか
 - 文化財担当の方や学校を巻き込みたいという場合は教育委員会などに後援(共催)を頼むとメリットが生じるが公開講演会の性格による(場合によって依頼すればよい)
 - 後援や共催をとると施設の使用料や広報・情報発信などの面でメリットが生じる場合もある
 - 講演会だけでなく研究会全体を後援(共催)してもらっても良いのではないか
 - 行政の防災担当などとも協力すると良いのでは
- ✓ 伊賀大会で苫小牧大会の具体的な日時・場所を会員に連絡する必要がある
- ✓ 次回幹事会には次期行事委員長として西村会員に出席(Web)をお願いする方向で決定

5. 広報活動について(広報)

【資料10】(広報活動に関する報告)

- ✓ 研究会メーリングリストの登録・変更等を随時おこなっている
- ✓ ホームページの更新『歴史地震』15号・16号のPDFアップ/伊賀大会関係の申込みフォームなどを作成し掲載
- ✓ J-GLOBALの新機能「出版社サイト」のURLを更新

- ✓ 今後 17 号の PDF 掲載などを行う予定
- ✓ musha の整理再登録・規定の改訂について時期をみて進める
→次回幹事会で規定の改訂案について議論することとする

6. 「研究会だより」原稿について

- ✓ 伊賀大会の第 3 報および投稿シートの変更を反映させ 12 日を目安に確定
- ✓ 過去の「研究会だより」を Web に掲載したほうが良い(掲載されてない号がある)

○次回幹事会は 8 月 4 日 17 時～開催の予定 (Web 開催)

以上